

大切な家族と暮らす

ヒトとの



岡順子さん（長伏）

平成13年にミニー（写真左）、平成14年にチョコ（写真右）が長伏公園に捨てられていたところを保護。

環境政策課 ☎ 983・2646



恐ろしい病気 狂犬病

「狂犬病」と聞いて、何を思い浮かべますか。狂犬病は、「犬」とついでいますが、ヒトを含むすべての哺乳類が感染する病気です。狂犬病に感染した犬などにかまれることで伝染し、感染した場合は、ほぼ確実に死に至ります。

日本は狂犬病清浄地域とされていますが、海外で犬にかまれ帰国後発症・死亡した例や、輸入船を介して犬が不法上陸した例があり、感染する危険は常にあります。世界では年間5万人以上が狂犬病で亡くなっています。



予防注射は義務

飼い犬の登録と、年に一度の狂犬病予防注射は、法律で義務付けられています。犬のためではなく、ヒトのために予防をしているのです。犬を飼い始めたときは必ず登録し、鑑札や狂犬病予防注射済票をつけるようにしましょう。

動物が好きな人も苦手な人も、飼っている人も飼っていない人も、長い歴史の中で共に暮らしてきた動物について、考えてみませんか。



災害時の避難

災害などで避難生活を強いられる際は、ペットも一緒に避難できます。市では、県内市町に先駆け、愛玩動物救護計画を策定し、市内全域23カ所の指定避難場所にペットの飼育スペースを設置しています。

避難所でのペットの飼育管理は、飼い主の責任になります。餌や薬などは事前準備をしておきましょう。また、被災動物を放置すると、野犬化した犬にかまれるなど、住民が被害を受ける恐れもあるため、飼い主でない人も、同行避難に理解をお願いします。



人と動物の共生社会 実現に向けて

11月12日(日)、市民文化会館で、第1回人と動物のハッピーライフシンポジウムが開催されました。

「動物と人が共に暮らす健康な社会を目指して」をテーマとする講演や、パネルディスカッションが行われ、獣医師の資格をもつ豊岡市長もパネリストとして参加しました。

動物を適正に飼育すること、殺処分をできるだけ少なくすることが、人と動物との共生につながります。



鑑札と済票の重要性

先日、ミニーが行方不明になりました。市に連絡したところ、保護されているということ、無事に再会できました。

愛犬には、鑑札も狂犬病予防注射済票も、迷子札もつけていませんでした。行方不明事件後、リードのつなぎ方を見直し、首輪を二重に、鑑札、注射済票を別々の首輪につけるようにしました。万が一、また行方不明になってしまったときは、鑑札が注射済票から連絡先が分かるようになっていきます。

狂犬病予防接種は毎年受けていましたが、鑑札などの重要さを分かっていませんでした。ほかの飼い主の皆さんにも、家族の一員としてなるべく長く一緒にいられるよう、鑑札の装着などをお勧めしたいと思います。



首輪をチェックしよう

きちんとつないでいるつもりでも、劣化して切れたり、抜けたりすることがあります。飼い犬が迷子になるのを防ぐため、日ごろのリードや首輪のチェックは大切です。また、首輪に鑑札、狂犬病注射済票をつけておくようにしましょう。万が一の場合も、飼い主との連絡が取りやすくなり、愛犬が家に帰ることのできる可能性が高くなります。



▲二重にした首輪



▼鑑札ホルダー



鑑札ホルダー配布中

犬の首輪に鑑札などを装着するための鑑札ホルダーを登録時に無料配布しています。中には犬の名前や住所を記入するカードもあるので、迷子札としても使用できます。

●鑑札・注射済票紛失時の再発行

場環境政策課

費▼鑑札：1600円

▼注射済票：340円

持愛犬手帳（愛犬カード）



飼い主のいないねこに餌やりをしている人へ

餌をやるだけでほかに何もしないと、ねこが増え、地域を汚し、近隣の迷惑となります。飼い主のいないねこに餌をやる場合は、次の点に注意してください。

- ▼避妊去勢手術をさせる
- ▼餌を放置しない
- ▼トイレを用意する



▲耳先V字カットは手術済みの証です



飼い主のいないねこを迷惑に思っている人へ

ねこを迷惑に思う理由はさまざまです。しかし、増える原因を解決せずにねこだけを排除しても、時間がたてば元の状態に戻ってしまいます。飼い主のいないねこが過剰に増えてしまうことを防ぐため、避妊去勢手術を行うことが重要です。

市では、飼い主のいないねこへの避妊去勢手術費を予算の範囲内で全額補助しています。詳細は、広報みしま10月1日号18ページをご覧ください。